

新棟建設候補地等について

【内 容】

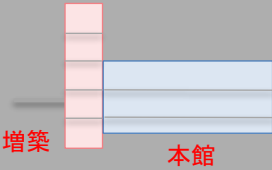
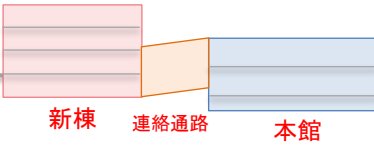
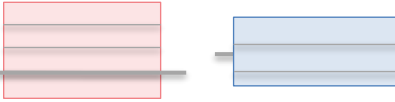
- 1 建設候補地案の比較検討結果について
- 2 諸室構成の概要について
- 3 建設候補地案の概要と諸室構成の方針について

各候補地の概要（施設整備計画原案 令和7年2月 より）

現中央博物館（本館）に近いカルチャーゾーン内で候補地を3案検討した結果、A案では必要な延床面積が確保できないことから、B案・C案において諸室の機能構成を比較検討し、候補地を決定させることとする。



国土地理院地図を一部改変

A案	構造：増築＋全面改修 場所：移転なし
 本館：地上2階・地下1階 増築：地上4階・地下1階 最高地上高 19.5m	計画可能な建物構造  増築 本館
B案	構造：本館と新棟を連絡通路で連結 場所：生態園西側に新棟建設
 本館：地上2階・地下1階 新棟：地上3階・地下1階 最高地上高 19.5m	計画可能な建物構造  新棟 連絡通路 本館
C案	構造：本館と新棟に分棟 場所：西洋庭園に新棟建設
 本館：地上2階・地下1階 新棟：地上3階・地下1階 最高地上高 19.5m	計画可能な建物構造  新棟 本館

各候補地の比較（施設整備計画原案 令和7年2月 より）

		A案 構造：増築＋全面改修 場所：移転なし	B案 構造：本館と新棟を連絡通路で連結 場所：生態園西側に新棟建設	C案 構造：本館と新棟に分棟 場所：西洋庭園に新棟建築
建設条件の比較	必要な延床面積	✗ 確保できない	○ 確保可能	○ 確保可能
	免震構造（公開承認施設を目指すに当たり望ましい設備）	✗ ・導入不可能（建物の揺れは抑制できないため、資料破損を防止できない） （本館と増築部分が一体構造となるため）	△ ・導入可能（連絡通路と新棟の連結部に特殊工事が必要）	○ ・導入可能（建物の揺れを抑えることで、資料破損を防止できる）
	費用	✗ ・最も高額	△ ・A案とC案の間	○ ・最も低額
	工事期間中の業務	✗ ・工事期間中の休館が必要 ・職員執務スペースの確保が別途必要	○ ・工事期間中の休館は不要	○ ・工事期間中の休館は不要
利便性の比較	青葉の森公園の文化施設との回遊性・活性化	― ・現状と同様	✗ ・新棟が青葉の森公園の北端に位置するため、回遊性が低下する。	○ ・本館、生態園、図書館・文書館、芸術文化ホール、新棟が同心円状に並ぶため、回遊性の向上が見込まれる ・新棟がレクリエーションゾーンに隣接するため、わんぱく広場等を利用する親子連れ等を新棟に誘導しやすい
	来館者動線	○ ・移動は全て屋内（移動距離が短い）	△ ・移動は全て屋内（移動距離がやや長い）	✗ ・屋外移動が生じる（移動距離が長い）
	博物館業務への影響	資料運搬作業 ○ ・移動は全て屋内（移動距離が短い）	△ ・移動は全て屋内（移動距離がやや長い）	✗ ・屋外移動が生じる（移動距離が長い）
		業務用駐車場（業者等） ― ・現状と同様（35台）	✗ ・大幅に減少（▲30台程度） （現駐車場に連絡通路を建設するため）	○ ・増加が可能
	生態園への影響	○ ・なし	✗ ・生態園の環境が変わるため、動植物に影響がある ・生態園の一部を新棟の敷地として使用しなければならず、移設先の確保が困難	○ ・新棟から生態園入口までが近くなる
近隣住民への影響		✗ ・北側の戸建て住宅の日照及び景観に影響（高さ約20mの建築物が建つため）	✗ ・西側の集合住宅地の日照及び景観に影響（高さ約20mの建築物が建つため）	○ ・なし （周辺に住宅地はないため）
総合評価		✗	△	○

現状の諸室構成とリニューアル後に必要となる諸室機能(案)

① 収集・保管

機能	区分	現状
収蔵	乾燥資料関係の収蔵庫	○
	液浸標本関係の収蔵庫	○
	冷凍・冷蔵資料関係の収蔵庫	※1
	書庫	※1
資料作成・整理	資料一時保管庫、冷凍庫室 など	○
	標本製作室、整理作業室 など	○
	資料洗浄室、動物処理室 など	—
資料管理・活用	燻蒸室	○
	資料・標本閲覧室	—

② 調査・研究

機能	区分	現状
実験	実験室、分析室 など	○
	薬品庫	○

③ 展示・教育普及

機能	区分	現状
展示	常設展示室	○
	企画展示室	○
展示準備	展示準備室、工作室 など	○
	展示用具倉庫、活用資料保管庫 など	○
教育普及	レファレンスコーナー、図書閲覧室 など	○
	講堂、研修室 など	○
	多目的スペース など	○
	普及事業用倉庫	※1

④ 管理・運営

機能	区分	現状
利用者サービス	救護室	○
	赤ちゃん休憩室	※1
	レストラン	※2
	休憩・交流スペース	○
	ロッカー室 など	○
	ショップ	○
博物館運用	搬入口、荷解き室 など	○
	応接室、会議室 など	○
	事務用倉庫 など	○
	印刷室、更衣室 など	○
	情報管理室	※1
博物館管理	警備室、清掃員室、機械室、廊下、エントランス など	○

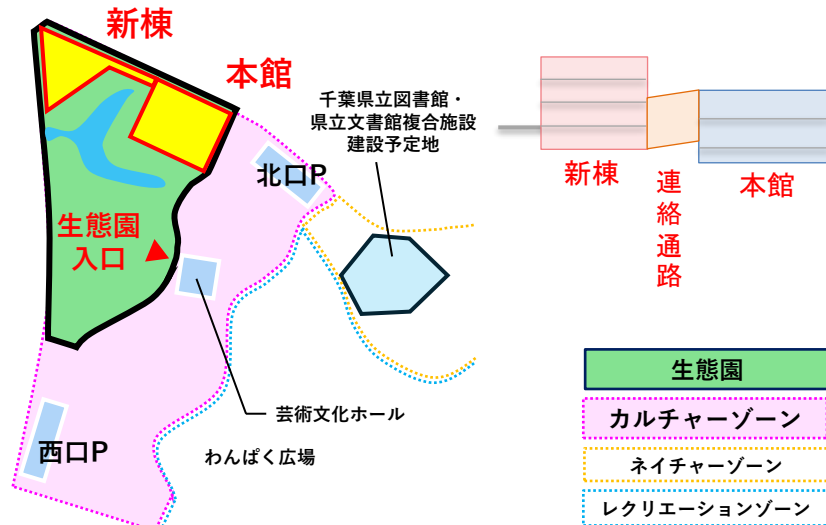
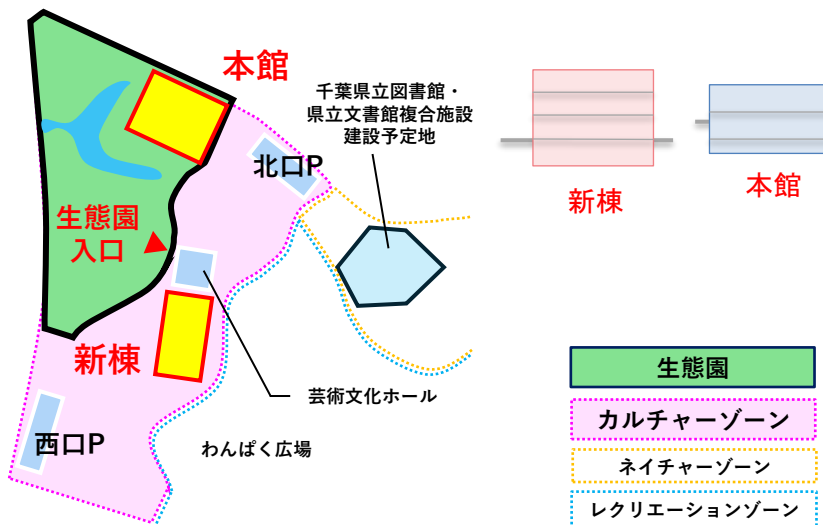
⑤ 執務 ※3

機能	区分	現状
研究員執務	研究室 など	○
職員執務	館長室、事務室 など	○

※1 機能自体は存在しているが専用諸室がないもの

※2 令和3年5月から休業中

※3 諸室配置については、本館・新棟の建物規模等を踏まえて、設計段階で検討予定。また、業務内容に応じて、フレキシブルに勤務場所を変更できる環境を検討予定。

	B案	C案
	構造：本館と新棟を連絡通路で連結 場所：生態園西側に新棟建設	構造：本館と新棟に分棟 場所：西洋庭園に新棟建築
候補地及び建築可能な建物構造の概要		
両案 共通方針	○収集・保管に係る諸室 ・資料の性質に基づき、本館は自然系資料、新棟は人文系資料に関する諸室を中心に配置する。 ・新棟の収蔵庫は水害等の被害を受けにくい上層階に配置する。 ○調査・研究に係る諸室 ・研究室は本館・新棟の両方に配置する。 ○展示・教育普及に係る諸室 ・展示エリアの基本方針に基づいて構成を検討し、新棟はストーリー展示を中心に展開、本館は探求素材展示を中心に展開する。 ・企画展示室は新棟に新設し、本館には配置しない。 ○管理・運営に係る諸室 ・利用者サービスに係る諸室（レストラン・ショップ等）はメイン棟となる新棟を中心に配置する。 ・赤ちゃん休憩室を本館・新棟の両方に配置する。	
問題点	・必要面積を確保するためには建物形状が三角形となるため、諸室の使い勝手を考慮した配置が難しい。 ・デッドスペースが多く生じる可能性がある。	・本館と新棟が分離する。 【対応策】 ウェブ会議システム等で連携する諸室を両棟に設け、相互の業務連携の円滑化を図る。